

2 行政コスト計算書

1年間の行政コストのうち、資産形成以外の行政サービスに、どのようなコストがかかったか、また行政サービスに対して、使用料や手数料などの受益者負担がどの程度あったかを表した表です。

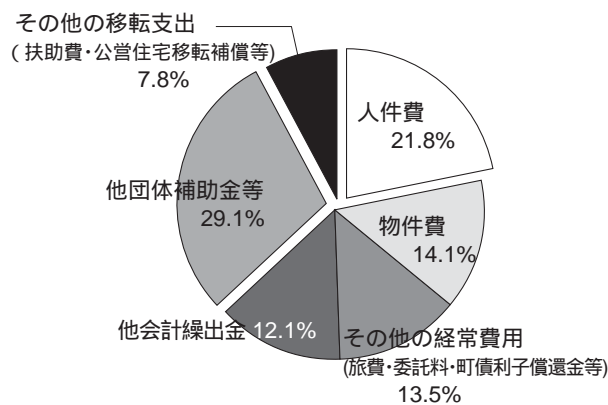
平成25年度の行政コストは総額で、約50億5,978万円。その対価として町民などが負担した使用料や手数料などの経常収益は、約2億6,386万円でした。総行政コストから経常収益を引いた純行政コストは、約47億9,593万円となり、このコスト(不足分)は、町税や地方交付税などの一般財源や、国や道からの補助金などで賄っています。

(単位：千円)

	24年度	25年度	増減額
総行政コスト	5,220,931	5,059,780	161,151
1.人にかかるコスト (人件費、退職給付費用)	1,126,996	1,105,387	21,609
2.物にかかるコスト (維持補修、減価償却費など)	801,073	715,790	85,283
3.業務にかかるコスト (委託料、公債費利子など)	663,671	682,491	18,820
4.移転支出的なコスト (補助金・社会保障給付費など)	2,629,191	2,556,112	73,079
経常収益	265,973	263,855	2,118
1.使用料・手数料など	265,973	263,855	2,118
純行政コスト	4,954,958	4,795,925	△159,033

各科目の端数処理により内訳と合計値が一致しない欄があります。

■総行政コストの内訳



3 純資産変動計算書

バランスシートの純資産の1年間の増減を表した表です。資産形成に一定の投資を行ないましたが、保有していた資産の減価償却により資産価値が減少した結果、純資産の残高は最終的に約1億5,884万円減少しています。

(単位：千円)

	24年度	25年度	増減額
年度当初純資産残高	18,827,178	18,192,350	634,828
財源変動額	167,402	231,519	64,117
1.財源の調達 (町税、補助金など)	6,066,791	5,861,666	205,125
2.財源の使途 (純経常費用など)	5,899,389	5,630,147	269,242
資産形成充当財源変動額	802,230	390,355	411,875
1.固定資産の変動 (減価償却費など)	484,692	563,193	78,501
2.その他の増減 (町債の増減など)	317,538	172,838	490,376
変動額合計	634,828	158,836	475,992
年度末 純資産残高	18,192,350	18,033,514	158,836

👁️「財務4表」から見える羽幌町の財政的課題

「バランスシート(貸借対照表)」を見ると、事業用資産約101億9千6百万円、インフラ資産約117億2千8百万円と羽幌町は多額の資産を保有していることがわかります。しかし、これらの資産を維持管理する経費は「行政コスト計算書」の人・物・業務にかかるコストに含まれ、様々な削減に努めていますが固定的な経費として財政負担は重くなっています。

また、経年劣化による資産価値の低下や公共施設などの老朽化が進んでおり、公共施設マネジメント計画などに基づき、今後、大規模改修や解体、建替えなど、多額の更新費用発生が見込まれることが、大きな課題となっています。

📄 公会計制度から見る 羽幌町の財政状況

羽幌町では、平成25年度決算から、国が示した「地方公会計制度」に基づく「財務書類4表」を作成し公表します。

1 バランスシート(貸借対照表)

バランスシート(貸借対照表)とは、民間企業で一般的に用いられている「企業の財政状態」を表した表です。町が住民サービスを提供するために保有する資産(土地・建物・基金など)がどれだけあって、その資産を形成するために今までどのような財源(負債・補助金など)で賄ってきたのかを表しています。



用語解説

【資産】 土地、学校、公園、道路などの財産や、投資、基金など、これまで積み上げてきた資産
 【負債】 町債(借金)や退職手当見込額など、将来世代の負担となるもの
 【純資産】 過去の世代で形成した財産や、国や道からの補助金など将来返済しなくても良い財産

平成26年3月31日(平成25年度末 現在) (単位：千円)

資産 100%	24年度	25年度	増減額	負債 32%	24年度	25年度	増減額
公共資産	22,485,402	21,925,131	560,271	固定負債	7,427,824	7,231,324	196,500
1.事業用資産 (学校、福祉施設など)	10,427,983	10,196,850	231,133	1.町債	5,570,713	5,373,835	196,878
2.インフラ資産 (道路、河川、港湾など)	12,057,419	11,728,281	329,138	2.退職手当引当金	1,842,377	1,842,320	57
投資等	3,593,550	3,749,797	156,247	3.その他	14,734	15,169	435
1.投資及び出資金	150,838	150,838	0	流動負債	778,283	773,124	5,159
2.基金など	3,442,712	3,598,959	156,247	1.翌年度償還予定町債	701,323	695,328	5,995
流動資産	319,505	363,034	43,529	2.賞与引当金	48,319	48,683	364
1.資金	179,326	224,127	44,801	3.預かり金(保管金等)	28,641	29,113	472
2.有価証券	41,480	41,480	0	負債合計(a)	8,206,107	8,004,448	201,659
3.未収金など	98,699	97,427	1,272	純資産 68%			
資産合計	26,398,457	26,037,962	△360,495	1.国・道補助金等	89,978	227,447	137,469
				2.一般財源等	18,102,372	17,806,067	296,305
				純資産合計(b)	18,192,350	18,033,514	158,836
				負債・純資産合計(a+b)	26,398,457	26,037,962	△360,495

会計の範囲 今回の公表の対象は一般会計のみです。今後、段階的に対象とする会計を拡大しすべての会計を公表する予定です。

平成25年度末現在で羽幌町が保有する資産の合計は、約260億3千796百万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。そのうち、純資産は約180億3千351万円(69.3%)で、過去の世代や国・道の負担で既に支払いが済んでいます。負債は約80億445万円(30.7%)、将来世代が負担していくことになります。

資産のうち、学校や福祉施設などの事業用資産は39.2%で、道路や河川などのインフラ資産は45.0%です。また、金融資産は資産の15.8%で、基金などが主なものとなっています。

👁️ 町民一人あたりにすると・・・

資産	340万5千円 (前年比1.7%増)	↔	負債	104万7千円 (前年比1.7%増)
			純資産	235万8千円 (前年比1.7%増)

他市町村の参考値は、資産が100～500万円の間、負債が30～200万円の間ですから、羽幌町は、どちらも平均的な水準にあると言えます。

平成26年3月末住民基本台帳人口7,648人より算出